

# Classic Garden

～クラシックの庭～

Vol.1

日本屈指のヴァイオラ奏者・生野正樹が  
プロデュースする新たな  
クラシックコンサートシリーズがスタート。

響き合う弦楽器の調べ

「ドヴォルザークの世界」



Violin  
生野 正樹  
Masaki Shono

Violoncello  
奥泉 貴圭  
Takayoshi Okuzumi



Violin  
石田 泰尚  
Yasunao Ishida



Violin  
佐久間 聰  
Soichi Sakuma

公演情報・チケットは  
コチラから

2025年  
8月24日(日)

東松山市民文化センターホール

開演 14:00 / 開場 13:30

曲目  
アントニン・ドヴォルザーク作曲  
| 交響曲第9番「新世界より」第2楽章(弦楽三重奏版)  
| 弦楽三重奏曲 変ロ長調 “ミニアチュア” Op.75a B.149  
| 弦楽三重奏曲ハ長調 “テルツェット” Op.74 B.148  
| 弦楽四重奏曲第12番へ長調 “アメリカ” Op.96, B.179

※曲目、曲順は変更となる場合がございます。

## チケット情報 information

入場料(全席指定・税込)

【一般】3,000円 【高校生以下】1,000円

※未就学児入場不可

※高校生以下チケットは、入場時に学生証をご提示いただきます。

お問い合わせ(受付時間 8:30~17:15(臨時休館日を除く))

東松山市民文化センター 〒355-0024埼玉県東松山市六軒町5-2 ☎0493-24-2011 FAX 0493-24-2012

一流的演奏家が奏でる名曲を、  
美しい庭を散策するかのように楽しめる贅沢なコンサート。  
音楽の響きに包まれながら、  
クラシックの魅力を身近に感じる特別なひとときを。

## 出演者プロフィール

Viola

生野 正樹 Masaki Shono

1978年大分県出身。埼玉県滑川町在住。14歳よりヴィオラを始め、大分県立芸術緑丘高校を経て、洗足学園音楽大学器楽科を首席で卒業、同大学大学院修了。内田博、岡田伸夫の各氏に師事。ザルツブルク=モーツアルト国際室内楽コンクールにて第2位入賞。日本演奏連盟のオーディションに合格、九州交響楽団と共に演奏。ソロアルバムを三枚、四枚組BOXCD "ノスタルジック・メロディーズ"を Wanar Music Japanより発売。これまでに神奈川フィル、新日本フィル、東京シティフィル、広島交響楽団など全国の主要オーケストラに客演首席として参加。2016年は活動を一時休止しドイツへ留学。ピアノの名匠ガエルク・フリードリヒ・シェンク氏とラームスのソナタを共演し、研鑽を積む。2019年天皇陛下即位祝賀式典のオーケストラにてソロヴィオラ奏者を務めた。現在はオーケストラへの客演を中心に室内楽、ソロ活動、また、葉加瀬太郎ツアーや様々なジャンルのレコーディングに参加。石田組、トリオAXIS、昴21弦楽四重奏団、東京グラウンドソロイストメンバー、RENTARO 室内オーケストラ九州ソロ首席奏者。令和7年4月から東松山市民文化センター音楽アドバイザーに就任。

Violin

石田 泰尚 Yasunao Ishida

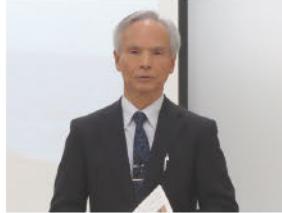
Special guest



©Nortzumi Kitada Universal Music

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送され、その熱いステージの模様は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ！」を刊行。ミューザ川崎シングフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を2022年、及び2024年に開催。2024年には石田組でNHK「あさイチ」に出演。日本武道館公演を行い8,000人以上を动员し大きな話題となった。同年リリースされた「石田組 結成10周年記念 2024・春」が第39回日本ゴーラードディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。使用楽器は1690年製G.Tononi、1726年製M.Goffriller。

## Classic Garden vol.1 プレ音楽講座



Classic Garden～クラシックの庭～で演奏される曲やその作曲家などについて、八木原宗夫さんが解説！コンサートをより楽しめるプレ音楽講座です。

### 八木原宗夫

埼玉県内高校の音楽教育に長年携わり、合唱・吹奏楽の指導を行なう。埼玉県立芸術総合高等学校校長、武藏野音楽大学附属高等学校副校長を歴任し、音楽教育の発展に貢献。現在は地域でクラシック音楽講座を開催し、音楽の魅力を広めている。東松山市在住。

開催日時 2025年8月3日(日) 10:00～12:00

講師 八木原宗夫(元埼玉県吹奏楽連盟理事長)

参加費 2,000円 定員 50名

受付開始 2025年5月17日(日)～  
東松山市民文化センター窓口・お電話にて



©adonoan(Naoyuki Noda)

Violin

佐久間 聰一 Soichi Sakuma

4才からヴァイオリンをはじめ、桐朋学園大卒業。ドイツでも学んだ。新日本フィル契約団員、大阪フィル首席奏者、ドイツ・カンマー・フィルハーモニー・ブレーメン客演奏者、広島交響楽団の第1コンサートマスターをつとめた。現在は、ソリスト、室内楽奏者、客演コンサートマスターとして多彩な活動で活躍の幅を広げている。「その魅力的な音色で聴衆を一つにする力がある」(音楽の友)など誌上でもたびたび注目を浴びている。CDも数多く、好評販売中。また、YouTubeの〈愉快なヴァイオリン教室サロン・フリッツ〉は多くの音楽愛好家から人気を博している。(チャンネル登録者1万人超)石田組の組員、昴21弦楽四重奏団、弦楽トリオAXIS、ピアノトリオMIYABI、デュオでゆのメンバーとしても活動中。洗足学園音楽大学非常勤講師もつとめている。



Violoncello

奥泉 貴圭 Takayoshi Okuzumi



©T.Takada

札幌市出身。東京芸術大学附属音楽高等学校を卒業後、ドイツ・トロッセンゲン音楽大学を経て、2007年より2年間バイエルン国立歌劇場の契約団員として研鑽を積む。1998年札幌ジュニアフェロコンクール優秀賞、2004年ビバホールフェロコンクール2位、2006年度文化庁在外研修員。その他、国内外数々のコンクールで入賞。2009年に帰国後、2016年まで上野学園大学講師を歴任。小澤征爾スイス・インターナショナルアカデミー、小澤征爾音楽塾オーケストラ、サイトウキネン室内楽勉強会、水戸室内管弦楽団、紀尾井シンフォニエッタ、東京春音樂祭、石田組、高嶋ちさ子with Super Cellists、めざましクラシックスなどに参加。現在はソロ、オーケストラ客演首席、室内楽、レコーディング、TV出演、ライブサポート、トリオAXIS(弦楽三重奏)。

## 舞台技術ワークショップ 2025 vol.1

今年の舞台技術ワークショップは、「コンサートにおける舞台照明」。初日は、舞台照明の基礎を学び、2日目はClassic Garden～クラシックの庭～コンサートでの照明スタッフのサポートなどを行います。スタッフとして、クラシックコンサートに参加してみませんか？

開催日時 2025年8月23日(日)、24日(月) 各日10:00～17:00

講師 菅沼翔太・鈴木健太郎(彩の国さいたま芸術劇場)  
内田直美(東松山市民文化センター)

参加費 1,000円(保険料を含む) 定員 20名 ※高校生以上の方が対象となります。

受付開始 2025年5月17日(日)～ 東松山市民文化センター窓口・お電話にて



# Classic Garden vol.2

～クラシックの庭～

音の庭で花ひらく、

「日本のうた、ドイツのうた」

2026年2月15日(日)

開演 14:00 / 開場 13:30

出演者



林美智子  
(メジコラ)



山中博史  
(ヒロシ)



生野正樹  
(ノダノアヨウキ)



佐久間聰一  
(サクマソウイチ)